

## 北海道がんサミット 2016 を開催して

平成 28 年 7 月 24 日（日）に北海道新聞社本社（札幌市）において北海道がんサミット 2016「患者が望むがん対策～全国で 2 番目に高い死亡率を下げるために～」を開催いたしました。

### 【北海道がんサミット 2016 開催までの経緯】

東京では 2009 年から年 2 回「がん政策サミット」（主催：NPO 法人がん政策情報センター）が開催されており、昨年 5 月末、近藤院長が「がん政策サミット」に参加したことがきっかけとなり、北海道がんサミット構想が始まりました。

さらに後押しとなったのが、昨年 10 月に開催された道新フォーラム「オール北海道でがんを防ごう」です。患者と医療者、北海道庁、市会議員、民間企業、マスコミの 6 者から 8 名が参加して道内のがん対策充実を目的としたパネル討議を行いました。その際、パネリストで参加した近藤院長が「北海道がんサミット」の開催を提案、参加者からの賛同を受け開催に向け準備が始まりました。

まずは、開催に向けた意見交換会・勉強会から始まり、本年 4 月には道庁、札幌市、北海道医師会、北海道新聞社、当院、患者会、民間企業などで北海道がん対策「六位一体」協議会を発足させました。協議会では様々なことが話し合われましたが、委員それぞれが感じたことは、がん対策を進めるには患者・家族を中心とした 6 者の協働「六位一体」が必要であることです。しかしながら発足時は構成員であるにもかかわらず、条例や北海道の予算を決める議員の参加がなかったことから、近藤院長が北海道議会に何度も足を運び、7 月初旬に道議会の 5 党派全員からなる超党派の「がん対策北海道議会議員の会」が発足し構成団体に加わりました。

これにより真の「六位一体」協議会が出来て、サミット開催に向けてさらにはずみとなりました。



主催の北海道がん対策「六位一体」協議会構成団体は次の通りです。

（一般社団法人）グループ・ネクサス・ジャパン北海道支部、ピンクリボン・ディスカバ、がん対策北海道議会議員の会、（一般社団法人）北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、（公益社団法人）北海道対がん協会、（一般社団法人）北海道医師会、北海道がんセンター、北海道文化放送、北海道新聞社、札幌市、北海道（12 団体）

## 【北海道がんサミット 2016 の概要】

本サミットには、がん患者や家族をはじめとして、医療関係者、企業、行政担当者、市議員ほか六位一体の立場に加え、協議会構成団体のがん対策北海道議会議員の会から12名の道議会議員や各協議会構成団体の代表者など約250名が参加しました。またメディアも北海道新聞、北海道医療新聞、HBC(TBS系列局)、STV(日本テレビ系列局)、TVH(テレビ東京系列局)そして構成団体である北海道文化放送(フジテレビ系列局)も朝から取材をして、昼のニュースに放送されました。



午前の講演は、はじめに埴岡健一 NPO 法人がん政策サミット理事長が「北海道の六位一体のがん対策～ あなたの参画による目標達成への旅～」と題して、予防・早期発見・治療による北海道の死亡率削減の10年戦略について、他県の例を交えながら説明いたしました。続いて、近藤院長が「がん登録から見える北海道のがん対策の課題」と題して北海道のがん登録のデータを通して得られる様々な情報を説明するとともに、がんの罹患予防及び死亡削減の対策は地域ごとに六位一体で取り組む必要性があると力説しました。そして患者2人からはその経験談及び東京でのサミットの様子を話してもらいました。



午後からのグループワークでは、参加者が「診断と治療」「早期発見」など7つの課題に分かれ、北海道のがん対策の問題点や患者のあるべき姿、そのためにはどのような施策が必要かを話し合われました。その後、各班からのまとめの発表に続き埴岡理事長からの各班へのコメント、最後の閉会挨拶では近藤院長からサミットを引き続いて開催していくことが話され盛會に終了しました。



### 【今後に向けて】

北海道は 2018 年度から始まる第 3 期のがん対策推進計画（5 ヶ年）の策定を開始します。札幌市では 2017 年度から始まる初のがん対策推進プラン（仮称）を本年度中に立てることになっています。

本サミットで作成した要望書は、後日改めて北海道知事、札幌市長および北海道議会議員の会会長へ手渡されることとなっています。この要望書がいち早く条例等に反映し、一刻も早くがん対策が進むこと。それにより北海道のがん死亡率を下げるのが北海道がんセンターの使命のひとつであると認識して、活動を継続してまいります。

（以上）